

議題 7

区分	☐ 新 規 ☒ 再提案 (R7・8・28 第157回総会；上田市ほか)		
種類	☒ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの ☐ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの ☐ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの ☐ その他（ ）		分野 ☒ 総務文教 ☐ 社会環境 ☐ 経済 ☐ 危機管理建設
要望先	☐ 国 ☒ 県 ☐ その他	担当省庁 担当部局課室 名 称	企画振興部交通政策局交通政策課
件名	地域鉄道安全性向上事業費補助金の拡充について		
提案市	上田市、小諸市、東御市		
提案要旨	地域公共交通の社会インフラとしての重要性が見直されつつある中、地方鉄道の安全性の維持・確保は多額の費用を必要とするため、地域鉄道安全性向上事業費補助金における県補助の拡充を要望する。		
提案理由	鉄道の継続的な運行を維持していくためには、特に安全面での施設整備に多額の経費が必要であり、鉄道事業者は当該補助金を活用し、計画的な安全対策事業を実施している。しかしながら、物価高騰やコロナ禍に伴う行動変容等により利用客が回復しない中、事業者は自己負担分捻出が困難な状況であるとともに、沿線市町村においても補助金の財源確保に苦慮していることから、県補助率の拡充等を求めるものである。 一例を挙げると、県補助率を 1 / 6 から 1 / 3 へ嵩上げすることにより、事業者負担を 1 / 3 から 1 / 6 に軽減できると考えられる。		
現況及び課題等	しなの鉄道は、広域的な移動を担う公共交通機関であり、通勤・通学のみならず観光客にとっても重要な移動手段である。開業から25年以上経過し、施設の老朽化が進行しており、これまで自己負担を捻出できる範囲で修繕を行ってきたが、令和5年には木製マクラギの老朽化が原因で3日間の運休により約23,000人に影響を及ぼす脱線事故が発生した。 しなの鉄道は事故を受け、7年度以降の緊急安全対策を講じるとし、大幅に増額した修繕費に対し、県及び沿線市町へ支援を求めている。 県及び沿線市町は、これまでも大規模修繕工事等を支援し、安全性を確保するとともに、事業者の負担軽減を図ってきたところであるが、9年度までの車両更新に加え、7年度の交通系ICカード導入経費や無人駅化に伴う新たな負担が生じることから、沿線市町では今以上の支援に対する財源確保は大きな課題となっている。		
関係法令	地域鉄道安全性向上事業費補助金交付要綱		